



救急車及び献血車供与契約書に 日本が署名



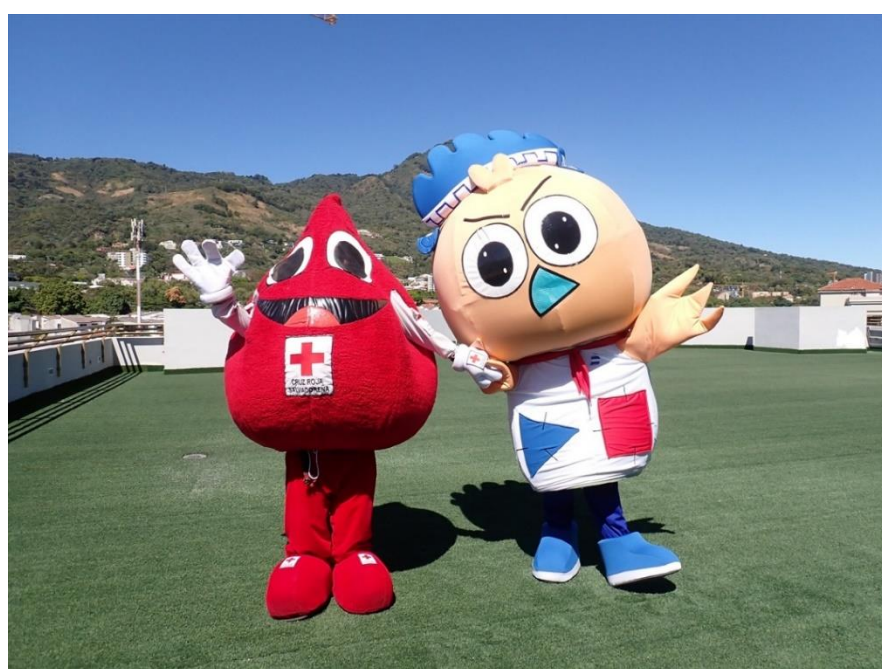
2026年1月16日、在エルサルバドル日本国大使館は、草の根・人間の安全保障無償資金協力によって行われる資金協力契約に署名した。

エルサルバドル赤十字社において、中古救急車1台及び中古献血車1台を整備することにより、緊急時の救急搬送及び病院前診療の質向上、災害時の対応能力強化、並びに献血活動の改善を図り、もって救急医療体制の強化及び輸血用献血製剤不足の解消に寄与する。



❖ エルサルバドル赤十字社との署名

署名式には、佐野豪俊駐エルサルバドル日本国大使が出席し、エルサルバドル赤十字社の代表者が同席した。



❖ 「ゴティータ」と「チャンパちゃん」

エルサルバドル赤十字社のマスコット「ゴティータ」と在エルサルバドル日本大使館非公式キャラクター「チャンパちゃん」が契約署名式のイベントに参加し、その場に花を添えた。

エルサルバドル赤十字への救急車及び献血車の贈与契約署名に署名することができ、大変光栄に思う。

エルサルバドルでは治安が劇的に改善し、人々が自由に、安心して国内を移動し、観光を楽しむようになった一方で、交通事故等における緊急支援活動の需要が高まっており、救急搬送体制の強化は、ますます重要となっている。

日本も同様の課題に直面し、その対応として「自助・共助・公助」を軸に据え、様々な関係機関と平時からの訓練に努めてきた。

エルサルバドル赤十字社は、長年にわたり命を守る活動を尽力し、地域社会にとってかけがえのない存在である。今回、日本から贈与する救急車および献血車が、貴会の活動をさらに支え、多くの命を救う一助となることを心から願っている。

しかし、最も大切なのは、日本からの支援ではなく、各コミュニティが自律的発展を目指す精神である。日本はこれからも、エルサルバドルの自律的発展を支えるため、支援を継続していく。



駐エルサルバドル日本国大使
佐野豪俊

この寛大な支援は、日本を特徴付ける人道的精神と、生命、人間の尊厳、最も脆弱な人々の福祉に対する日本の揺るぎない責務を明らかにするものである。この連帯した協力のおかげで、数年前に当社に対して行われた支援と同様、基準に則った移動献血キャンペーンを実施し、各種血液成分に必要な備蓄を維持する能力が大幅に強化される。

供与される救急搬送車と移動献血車によって提供される医療サービスを通じ、年間4510人以上が直接恩恵を受けると見込まれ、生命保護に具体的に貢献することになる。

移動献血車と救急搬送車により、赤十字社の基本原則に基づく我々の組織の使命の遂行が大幅に強化される。この使命の目的は、人種や国籍を問わず、人間の苦しみを予防し和らげることである。



エルサルバドル赤十字社会長
ホセ・ベンハミン・ルイス・ロダス

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施している案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル国民、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みるものである。